

人権・平和・環境などの地球的課題がテーマの参加型学習。特に日本と世界とのつながりを「持続可能な開発」をキーワードに考える。

先住民族のくらしと私たち

～ オーストラリア・ ウラン採掘の現場から～



講師： **細川 弘明さん**

(アジア太平洋資料センター (PARC) 共同代表、京都精華大学教員)

福島第一原発をはじめ日本で使用されるウランの約3分の1は、オーストラリアの先住民族アボリジニーの大地から来ています。ウランは採掘の時から放射能汚染を引き起こします。アボリジニーの人々の歴史や文化と、日本の先住民族アイヌの人々の今とを重ねながら、互いに尊重しあう社会を築くためにできることは何かを考えましょう。

日時： 2012年 **7月28日(土)16:00** ~ **29日(日)12:00**

場所： 関西セミナーハウス

・裏面地図をご参照ください。

京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23 電話：075-711-2115

参加費： **10,500円** (1泊2食込み) ・部分参加については事務局にお問合せ下さい。

* 開発教育セミナーの趣旨より、宿泊は原則的に2～3名の相部屋となっておりますが、部屋割りに対するご要望のある方はお問い合わせください。

* FAX(裏面書式)、電話、電子メール等でお申し込みください。HPからも申し込めます。(着信確認をお送りします。)

* 申込締切：7月25日(水)、または定員30名に達し次第。(締切日以降は、電話でお問い合わせください。)

* 前日正午以降の取り消し、ご変更は、キャンセル料がかかることがあります。

細川 弘明さん HOSOKAWA Koumei

専攻は文化人類学。グリーンピース・ジャパン理事、高木仁三郎市民科学基金理事なども務め、先住民族の10年市民連絡会、反原発運動全国連絡会、ノーニュークス・アジア・フォーラム、オーストラリア自然保護基金などの活動に参加する。

著書には、「開発とアボリジニーをめぐる果てしない物語—なぜ係争の種は尽きないのか」(『みんなく通信』117号、千里文化財団2007)、「異文化と環境人種主義—アボリジニーの自然観と文化意識から考える」(シリーズ『環境社会学』第6巻、新曜社2003)などがある。

◎ セミナー当日のタイムテーブル

【1日目】	15:30 ~	受付
	16:00 ~	セッション1 「アボリジニーの人々を知ろう！」 ・アイスブレイク ・細川さんのお話しとディスカッション
	18:00 ~	夕食
	19:00 ~	セッション2 「ウランはどこからどこへ」 ・ミニワーク ・細川さんのお話しとディスカッション
	21:00 ~	交流会
【2日目】	8:00 ~	朝食
	9:00 ~	セッション3 「アイヌと私たち」 ・アクティビティ「あんな服こんな服」 「シコツの500年」
	12:00	終了予定

* 参加者には、
教材本『続・先住
民族とESD』を
無料で差し上げま
す。

2012年度 開発教育セミナー

- 第3回 9月15日(土)~16日(日) 「脱原発のための福井スタディツアー」
講師：山崎隆敏さん(「若狭ネット」福井連絡先・「サヨナラ原発福井ネットワーク」代表)
- 第4回 10月13日(土)~14日(日) 「脱成長の社会をデザインする~『豊かさのものさし』を見直す~」
講師：中野佳裕さん(国際基督教大学社会科学研究所)
- 第5回 11月10日(土)~11日(日) 「『多みんぞくニホン』を生きる~在日コリアンとベトナム難民~」
講師：開発教育研究会
- 第6回 12月8日(土)~9日(日) 「日本に基地はもういらない!? ~沖縄を太平洋の要石から平和を展望する拠点へ~」 講師：豊下楯彦さん(関西学院大学法学部教授)

(財)日本クリスチャン・アカデミー
関西セミナーハウス活動センター

<http://www.academy-kansai.org>

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

電話 075-711-2117

FAX 075-701-5256

Eメール office@academy-kansai.org

運営委員長 小久保 正

担当 都木かおり



[第2回 開発教育セミナー申込書]

* 地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、タクシーは北山駅(出口②)が拾いやすいです。

(フリガナ)			
名前	(男・女)	所属	
住所〒			
電話()	-	FAX()	-
電子メール:		@	
通信欄			